

2023年度 環境経営レポート

株式会社フチガミ

発行日:令和6年8月31日

活動期間 令和5年5月～令和6年4月



～目次～

環境経営方針	P. 1
EA21認証、登録の対象範囲	P. 2
2023年度 GHG関連の主な実績	P. 3
GHG関連トピックス	P. 4～5
地域貢献活動トピックス	P. 6
環境経営目標・環境目標計画	P. 7
中長期目標値と実績	P. 8
2023年度 取組結果とその評価	P. 9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P. 10上段
代表者による全体評価と見直しの結果	P. 10下段
組織の概要	P. 11～17

環境経営方針

<基本理念>

株式会社フチガミは、産業廃棄物の収集運搬と中間処理を一貫して行い、また各工場の産業設備やタンク等の清掃管理及び危険物貯蔵施設の各種点検等を行うことにより、地域の環境保全に総合的に取り組んでいます。

当社は、今日までに培った環境管理技術をもとに、あらゆる可能性を信じてリサイクルを推進して資源循環型社会を実現したいと考え、『経済社会と地球規模の環境保全の両立』をテーマに、以下の方針に基づき全従業員が一丸となって環境管理活動に取り組めます。

<方針>

1. 当社の活動、製品、サービスが関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防及び環境保護に努め、顧客及び地域住民に安心してもらえる企業を目指します。
2. 環境経営方針により環境経営目標を定めて環境保全活動を推進します。これらは定期的に見直し、従業員に環境意識向上のための啓発活動を行うことで、環境経営システムの継続的改善に努めます。
3. 当社に関わる環境関連法規、条例、規制等を遵守します。
4. 以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組めます。
 - ① 受託した産業廃棄物の処理における環境配慮
 - ② 電力、燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ③ エコドライブの推進
 - ④ 一般廃棄物排出量の削減
 - ⑤ 水使用量の削減
 - ⑥ 化学物質の適正管理
 - ⑦ 地域貢献活動の推進
5. 環境経営レポートを作成し、環境活動の取り組み状況を公表します。

2021年07月01日 制定
2024年01月31日 改訂

株式会社フチガミ

代表取締役

湧上 明彦

EA21 認証、登録の対象範囲

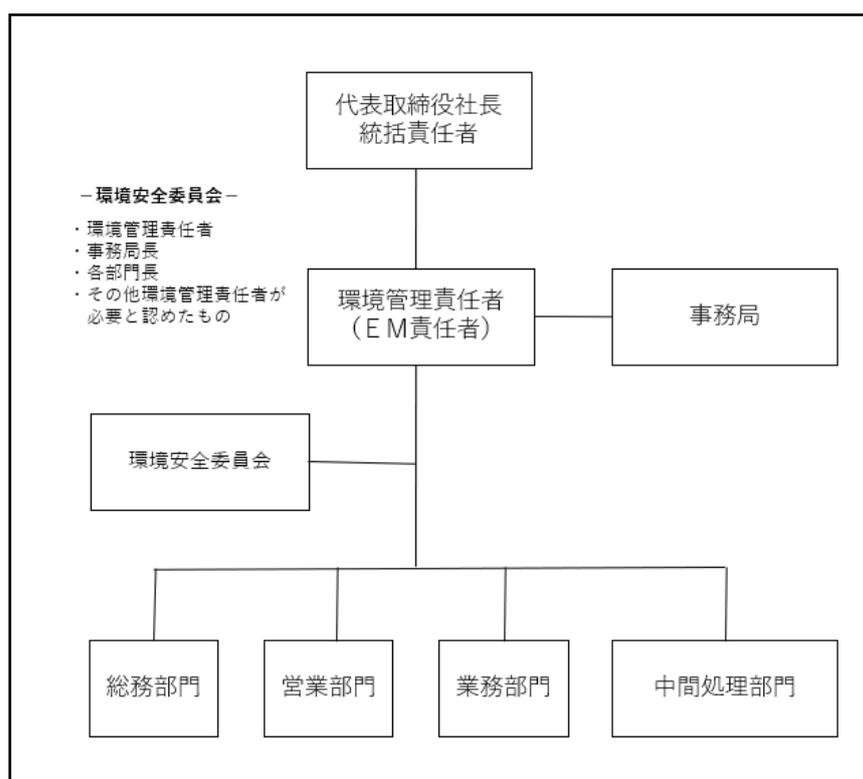
(1) 対象事業所

本 社:福岡県久留米市津福本町2300-10
本社工場:福岡県久留米市津福本町2300-10
第1工場:福岡県久留米市梅満町1645-8
第2工場:福岡県久留米市梅満町1632-1
第3工場:福岡県久留米市津福本町2280-1
熊本支店:熊本県熊本市東区神園2丁目1-17号

(2) 業務内容(活動、製品及びサービス)

- ①産業廃棄物収集運搬
- ②特別管理産業廃棄物収集運搬
- ③産業廃棄物中間処理
- ④特別管理産業廃棄物中間処理
- ⑤再資源化事業
- ⑥一般廃棄物収集運搬
- ⑦上下水道の浚渫・清掃
- ⑧ピット・各種タンクの清掃・漏洩検査
- ⑨油流出災害の処理・回収・清掃

(3) 実施体制(図)



2023年度 GHG関連の主な実績

【CO₂排出量実績】

Scope1	
焼却処分に伴うCO ₂ 排出量	3,053t-CO ₂
軽油使用に伴うCO ₂ 排出量	1,086t-CO ₂
ガソリン使用に伴うCO ₂ 排出量	40t-CO ₂
その他エネルギー資源(LPGガス、A重油等)使用に伴うCO ₂ 排出量	518t-CO ₂
Scope1 CO₂排出量計	4,697t-CO₂
各種取り組みによるCO ₂ 排出量削減・オフセット	
焼却炉燃料に自社製造の※再生重油を使用	△407t-CO ₂
2022年度 森とアースへのECOプロジェクト 植林活動により取得したクレジットによるオフセット	△50t-CO ₂
各種取り組みによるCO₂排出量削減・オフセット計	△457t-CO₂
Scope2	
電気使用量 CO ₂ 換算	243t-CO ₂
Scope2 CO₂排出量計	243t-CO₂
2023年度 CO₂排出量総計(Scope1、2のみ)	4,483t-CO₂

※再生重油について

使用済みのエンジンオイル等の潤滑油を主原料として、廃棄物を有効利用して製造するリサイクル燃料です。LSA重油と同等の発熱量が有り、代替燃料として使用可能です。温対法のGHG排出量報告において、再生重油を使用した分のCO₂排出量は報告の対象外となります。

[-参考リンク- 全国オイルリサイクル協会ホームページ 再生重油の特徴](#)



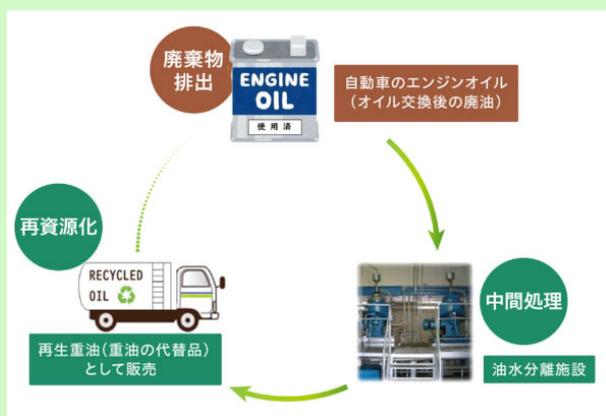
GHG関連トピックス①

①. 再資源化事業の推進

再生重油の製造を始めとした、様々な廃棄物の再資源化事業に取り組んでいます。

【再資源化事業の一例】

- ・再生重油の製造→自社使用及び販売
- ・エマルジョン燃料の製造→販売
- ・廃食油の飼料、工業製品、補助燃料での有効活用
- ・高カロリー汚泥及び汚水の新しい再資源化の取り組みなど



②. 社会貢献活動 森とアースへのECOプロジェクト

全国オイルリサイクル協同組合の展開する、「森とアースへのECOプロジェクト」にプロジェクト推進チームとして参加し、日本の森づくりと脱炭素社会の構築に貢献するべく、全国の自治体と連携して植林等の森林保全活動に取り組んでおります。2023年度は全国で計40haの植林を行い、50t-CO₂のクレジットとして認定されました。そのうちの10t-CO₂は国立公園・世界自然遺産カーボンオフセットキャンペーンに寄付し、残り40t-CO₂は当社の2024年度の再生重油事業に伴って排出するCO₂に対し、オフセットとして使用します。



GHG関連トピックス②

③. 本社敷地内 照明のLED化

本社敷地内の照明のLED化について省エネ診断を実施したところ、購入エネルギーの10%程度削減の効果が有ると診断されたため、屋内外全ての照明のLED化を実施しました。

前年比約8.4% (6,765kWh)、CO₂換算で2.3t-CO₂分の消費電力削減を達成するとともに、以前よりも照明が明るくなり、夜間作業の安全性も向上しました。



④. 営業用車両 ハイブリッド車への移行

営業用車両全14台のハイブリッド車への移行が完了しました。

燃費の向上により、3年連続でガソリン使用量の削減目標値を達成しました。



地域貢献活動トピックス

①. 久留米市への寄付 子ども達や地域への支援

令和3年度より毎年継続して、未来を担う地域の子どもたちを支援することを目的として、久留米市への寄付を実施しています。
久留米市長より感謝のお言葉と感謝状をいただきました。



②. 地域との繋がり 清掃イベントへの参加

久留米クリーンパートナー活動による会社敷地周辺の清掃をはじめ、筑後川河川美化「ノーポイ」活動や花火大会後の清掃、スポGOMI大会inくるめなど、地域の清掃イベントに積極的に参加し、久留米をもっとキレイな町にするべく活動してします。



環境経営目標・環境経営計画

環境経営目標	環境経営計画	2023年度の維持、削減目標
①受諾した産業廃棄物の処理における環境配慮	①-1 処理を受諾した産業廃棄物におけるリサイクル率の維持	リサイクル率99.5%の維持
②電力、燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	②-1 ガソリン、軽油使用量の削減	2020年度比3%(約46.2t-CO ₂)の二酸化炭素排出量削減
	・エコドライブ教育の実施	
	・営業車のハイブリッド車への移行	
	②-2 電気使用量の削減	
	・再エネ電力の導入検討	
	・照明のLED化推進	
③エコドライブの推進	③-1 定期的なグループ別ミーティングにて、デジタコやドラレコの記録などを使用した教育の実施	毎月一回のミーティングを実施
④一般廃棄物排出量の削減	④-1 紙使用量の削減	2020年度比3%(約8,700枚)の紙使用量削減
	・DXの推進	
	・裏紙の再利用	
	・ダイレクトFAXの推奨	
⑤水使用量の削減	⑤-1 水使用量の削減	2020年度比3%(約656.7m ³)の水使用量削減
	・洗車や車両への給水時の垂れ流しの禁止	
	・中間処理施設の適正な水使用の維持管理	
	・定期的な節水の呼びかけ	
⑥化学物質の適正管理	⑥-1 在庫管理や安全データシートによる適正管理	
⑦地域貢献活動の推進	⑦-1 地域貢献活動の実施	月一回以上の地域貢献活動を実施
	・地域の清掃活動への参加	
	・フードバンク活動の支援	
	・児童福祉活動への支援	
	・小中学生向けの環境教育出前講座の実施	

中長期目標値と実績

環境経営目標	数値目標設定項目	部門	単位	年度					
				2020 (基準年)	2021	2022	2023	2024	2025
①受諾した産業廃棄物の処理 における環境配慮	リサイクル率	中間処理	%	99.5	99.5	99.5	99.5 99.5	99.5	99.5
②電力、燃料使用に伴う二酸化 炭素排出量の削減	電力、燃料使用に伴う 二酸化炭素排出量	全社	t-CO ₂	1,539.15	1,523.76 1,567.48	1,508.37 1,524.50	1,492.98 1,430.10	1,477.59 -	1,462.19 -
	ガソリン使用に伴う 二酸化炭素排出量	総務 営業 業務		52.13	51.61 47.74	51.09 44.33	50.57 40.00	50.04 -	49.53 -
	軽油使用に伴う 二酸化炭素排出量	業務		1081.12	1070.31 1118.64	1059.50 1105.87	1,048.69 1,035.70	1037.87 -	1027.06 -
	電力使用に伴う 二酸化炭素排出量	全社		253.81	251.27 266.68	248.73 255.71	246.19 243.30	243.66	241.12
③エコドライブの推進	グループ別ミーティング 実施回数	業務	回	12	12	12	12 12	12	12
④一般廃棄物排出量の削減	紙使用量	全社	枚	287,987	285,107	282,227	279,347 188,587	276,468	273,588
⑤水使用量の削減	水使用量	全社	m ³	21,887	21,668 21,019	21,449 20,133	21,230 20,260	21,012 -	20,793 -
⑦地域貢献活動の推進	地域貢献活動実施回数	全社	回	12	12 15	12 15	12 16	12	12

※上段:目標値 下段:実績値 青字は目標達成、赤字は目標未達成

※購入する電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2018年度調整後排出係数
0.347kg/kwh



2023年度 取組結果とその評価

①. 受諾した産業廃棄物の処理における環境配慮

- リサイクル率の維持については、産業廃棄物の受入量は前年比で約2%増加しましたが、セメント原料化、燃料化で多くの量を処分し、埋立処分になるものを務めて減らしたことから、目標値であるリサイクル率99.5%を達成しました。

②. 電力、燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減

- 営業車のハイブリッド車への更新が進み、基準年と比較してガソリン使用量は目標を大きく下回りました。また、電力については再生エネ電力の導入を検討したものの、太陽光パネルを現状設置できる面積が少なく費用対効果が得られないため導入を見送りましたが、本社敷地内の電灯をLED化したことによる節電効果で目標を達成しました。軽油使用量においては基準年と比べて走行距離が増加していることも有り、使用量そのものは目標値を超過しましたが、二酸化炭素排出量においては2022年度に森とアースへのECOプロジェクトの植林活動により取得したクレジットにより50t-CO₂のオフセットを行い、目標を達成することができました。上記活動の効果により、電力、燃料使用に伴う二酸化炭素排出量における2020年度比3%の削減目標を、活動3年目にして達成しました。

③. エコドライブの推進

- 業務部各グループ毎に毎月のミーティングを計画通り実施しました。ミーティングでは、エコドライブ教育や事故の際のドラレコの記録及び対策の共有することができました。

④. 一般廃棄物排出量の削減

- 紙の使用量については、DXの推進により各資料の電子化が進んだことで、目標である2020年度比3%削減を大きく下回る、約32.5%の削減を達成しました。

⑤. 水使用量の削減

- 水使用量については、節水の表示を継続し、毎月の使用量を把握・監視することで、適正な水使用の維持管理をすることができ、今年度の目標である2020年度比3%削減を達成しました。

⑥. 化学物質の適正管理

- 保管場所のチェックシートや毎月の使用量及び在庫管理表で確認することで、化学物質の適正な管理をすることができました。

⑦. 地域貢献活動の推進

- 例年通り、毎月の会社周辺の清掃や、筑後川花火大会後の清掃、筑後川河川清掃「ノーポイ」活動、スポGOMI大会などへの参加を継続しています。子ども支援や災害支援を目的とした、久留米市への寄付も実施しました。

環境関連法規等の遵守状況及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規

- ・廃棄物処理法
- ・PRTR法
- ・大気汚染防止法
- ・労働安全衛生法
- ・下水道法
- ・フロン排出抑制法
- ・騒音規制法
- ・振動規制法
- ・消防法
- ・建設リサイクル法 など

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等の遵守状況を2024年5月8日に確認した結果、2023年度において違反は0件でした。

関係機関や利害関係者からは、工場からの粉塵と臭気による苦情が2件発生しました。直ぐに対策を実施し、改善しています。

代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の取組開始から3期目となり、環境貢献企業としての自社の価値向上を進めるために環境経営活動のステップアップに取り組んだ。

新たに自社の事業活動に伴うCO2排出量(Scope1、Scope2)の現状把握をおこない、その上でリサイクル率やCO2削減率など具体的なターゲットを定めることで、日々の環境経営活動による成果が明確になった。これにより年々事業が拡大して軽油等の燃料消費量が増加しているにも関わらず、エネルギー使用に伴うCO2排出量全体の削減目標を達成できたことは評価に値する。その結果、2023年度のすべての環境経営計画目標値を達成することができた。併せて、自社が取り組んできた植林等の森林保全活動などの社会貢献活動の価値の再認識や自社のリサイクル製品(再生重油等)が持つ価値の可能性に改めて気づくことができたことは大きな成果である。

近未来の脱炭素社会に備えて、事業に伴う環境影響をより広範囲で把握し効果的な対策を検討していくことが重要になると考えている。来期以降の目標として、自社の事業活動に伴うCO2排出量(Scope1、Scope2)を事業分野毎に把握することと、Scope3のCO2排出量把握の可能性についての検討準備を開始することで、更なる企業価値向上につながる環境経営活動を検討していく。併せて再生重油等のリサイクル製品が持つ価値(CO2排出量削減貢献)についても効果的な活用方法を検討していく。

組織の概要

商号	株式会社フチガミ
代表者	代表取締役 瀧上 明彦
本社所在地	〒830-0047 福岡県久留米市津福本町2300番地10 TEL:0942-38-5283 FAX:0942-38-5281
熊本支店	〒861-8044 熊本県熊本市東区神園2丁目1番17号
工場所在地	福岡県久留米市津福本町2300番地10 福岡県久留米市梅満町1645番地7 福岡県久留米市梅満町1645番地8 福岡県久留米市梅満町1645番地10 福岡県久留米市梅満町1632番地1 福岡県久留米市津福本町2280番地1
創業	昭和50年5月1日
会社設立	昭和58年9月1日
資本金	20,000 千円
2023年度 総売上実績	2,288,310 千円

従業員数:75名(2024年4月30日時点)

環境保全関係の責任者および担当者連絡先

環境管理責任者 瀧上 勇介

TEL 0942-38-5283 FAX 0942-38-5281

e-mail:yuusuke@fuchigami.co.jp

事業内容

- 各種リサイクル業務
- 産業廃棄物中間処理業
- 焼却炉の解体及び洗浄
- 鋼製地下ランクFRPライニング加工
- 地下タンク・移動貯蔵タンク気密漏洩検査
- 上下水道・河川・側溝・水路・埋設管等のしゅんせつ清掃
- 産業廃棄物収集・運搬業
- 産業設備及び構内清掃
- 油流出災害の処理・回収・清掃
- ピット及び各種タンク清掃
- 一般廃棄物収集運搬業



産業廃棄物収集運搬及び処分許可一覽

許可区分	県・市町村名	業の区分	許可番号	優良認定	許可期間	
					許可日	有効年月日
収集運搬	福岡県	産業廃棄物	第04000004767号	○	令和5年08月31日	令和12年08月30日
		特別管理産業廃棄物	第04050004767号	○	令和04年10月15日	令和11年10月14日
	熊本県	産業廃棄物	第04305004767号	○	平成29年07月20日	令和06年07月19日
		特別管理産業廃棄物	第04355004767号	○	令和05年04月12日	令和12年03月24日
	佐賀県	産業廃棄物	第04103004767号	○	令和05年06月17日	令和12年06月16日
		特別管理産業廃棄物	第04153004767号	○	令和05年04月13日	令和12年04月12日
	長崎県	産業廃棄物	第04200004767号	○	令和04年09月18日	令和11年09月17日
		特別管理産業廃棄物	第04025004767号	○	平成29年09月08日	令和06年09月07日
	大分県	産業廃棄物	第04407004767号	○	令和04年12月23日	令和11年12月22日
		特別管理産業廃棄物	第04457004767号	○	令和04年08月19日	令和11年08月18日
	宮崎県	産業廃棄物	第04508004767号	○	令和04年10月19日	令和11年10月18日
		特別管理産業廃棄物	第04558004767号	○	令和05年06月01日	令和12年05月31日
	鹿児島県	産業廃棄物	第04606004767号	○	令和05年04月18日	令和12年04月18日
		特別管理産業廃棄物	第04658004767号	○	平成30年05月22日	令和07年05月21日
	山口県	産業廃棄物	第03500004767号	○	平成30年03月28日	令和07年03月27日
		特別管理産業廃棄物	第03550004767号	○	令和6年01月15日	令和12年12月05日
	広島県	産業廃棄物	第03400004767号	○	平成29年10月12日	令和06年10月11日
		特別管理産業廃棄物	第03450004767号	○	平成29年10月12日	令和06年10月11日
	岡山県	産業廃棄物	第03300004767号	○	平成29年12月03日	令和06年12月02日
		特別管理産業廃棄物	第03350004767号	○	平成30年11月01日	令和07年10月06日
島根県	産業廃棄物	第3200004767号	○	平成29年11月20日	令和06年11月19日	
	特別管理産業廃棄物	第3250004767号	○	平成29年11月20日	令和06年11月19日	
鳥取県	産業廃棄物	第03104004767号	○	令和04年04月20日	令和09年04月19日	
	特別管理産業廃棄物	第03154004767号	○	令和04年04月20日	令和09年04月19日	
処分	久留米市	産業廃棄物	第11220004767号	○	令和05年08月31日	令和12年08月30日
		特別管理産業廃棄物	第11270004767号	○	令和05年03月22日	令和12年03月21日

<参考>

許可区分	県・市町村名	業の区分	許可番号	許可期間	
				許可日	有効年月日
一般廃棄物	久留米市	一般廃棄物収集運搬許可 久留米市(田主丸を除く)区域	第1059号	令和04年04月01日	令和06年03月31日
その他	(財)全国危険物安全協会	地下タンク等定期点検事業者認定	(6)-40002	平成31年03月01日	令和06年02月29日
		移動貯蔵タンク定期点検事業者認定	(5)-40002	令和04年04月01日	令和09年03月31日
		鋼製地下タンクFRPライニング 施工事業者認定	(2)-4002	令和元年11月16日	令和06年11月15日
	福岡県	建設業許可証	般4-115214	令和04年06月03日	令和09年06月02日
		計量証明事業登録(本社)	165	昭和61年12月05日	
		計量証明事業登録(第一工場)	287	平成21年09月10日	
九州運輸局	一般貨物自動車運送事業許可	九運貨物46	平成15年04月25日		
久留米市保険所	毒物劇物一般販売業登録	第21毒1008号	令和04年04月1日	令和10年03月31日	

【産業廃棄物収集運搬許可品目 県毎の一覧】

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	山口県	広島県	岡山県	島根県	鳥取県
廃プラスチック類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金属くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
燃え殻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
汚泥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃油	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃アルカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
紙くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
繊維くず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動植物性残さ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鋳さい	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
がれき類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動物のふん尿	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
ばいじん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石綿含有産業廃棄物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水銀使用製品産業廃棄物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水銀含有ばいじん等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【特別管理産業廃棄物収集運搬許可品目及び含有物の一覧】

	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉍さい	ばいじん	燃え殻	汚泥	13号 産業廃棄物
揮発油類、灯油類 及び軽油類	○	—	—	—	—	—	—	—
水素1%濃度指数 2.0以下のもの	—	○	—	—	—	—	—	—
水素1%濃度指数 12.5以上のもの	—	—	○	—	—	—	—	—
水銀もしくは その化合物	—	○	○	○	○	○	○	○※
カドミウムもしくは その化合物	—	○	○	○	○	○	○	○※
鉛もしくは その化合物	—	○	○	○	○	○	○	○※
有機燐化合物	—	○	○	○	○	○	○	○※
六価クロム化合物	—	○	○	○	○	○	○	○※
砒素もしくは その化合物	—	○	○	○	○	○	○	○※
シアン化合物	—	○	○	○	○	○	○	○※
トリクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○※
テトラクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○※
ジクロロメタン	○	○	○	○	○	○	○	○※
四塩化炭素	○	○	○	○	○	○	○	○※
1,2- ジクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○※
1,1- ジクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○※
シス-1,2- ジクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○※
1,1,1- トリクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○※
1,1,2- トリクロロエタン	○	○	○	○	○	○	○	○※
1,3- ジクロロプロペン	○	○	○	○	○	○	○	○※
チウラム	○	○	○	○	○	○	○	○※
シマジン	○	○	○	○	○	○	○	○※
チオベンカルブ	○	○	○	○	○	○	○	○※
ベンゼン	○	○	○	○	○	○	○	○※
セレンもしくは その化合物	○	○	○	○※	○	○※	○	○※
ダイオキシン類	○	○	○	○	○	○	○	○※

※感染性廃棄物及び廃石綿等については全ての県で許可を保有。

※岡山県は感染性廃棄物及び廃石綿等のみ許可を保有。

※セレンもしくはその化合物を含む鉍さいについては、佐賀県、島根県、鳥取県のみ許可を保有。

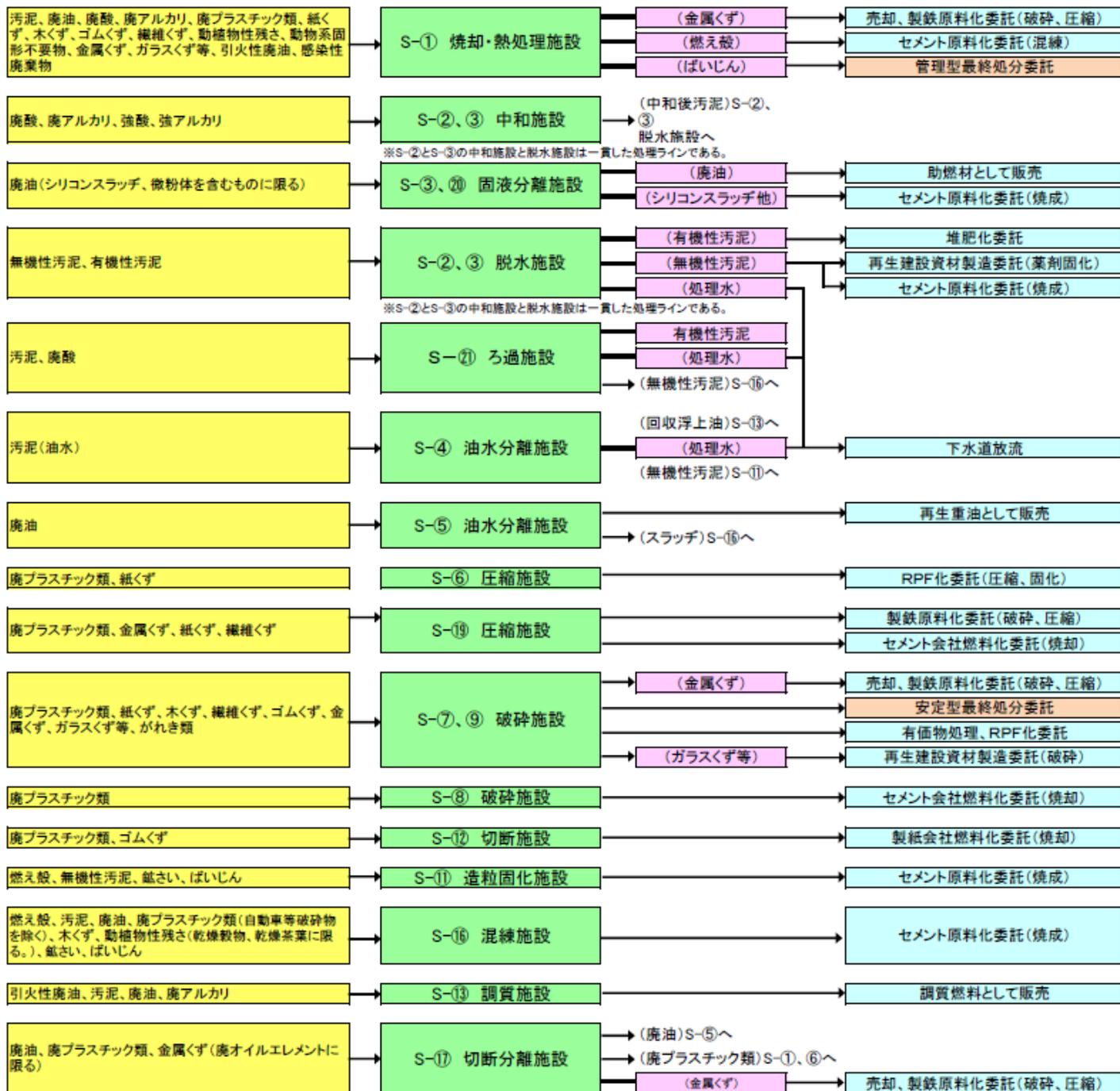
※セレンもしくはその化合物を含む燃え殻については、島根県、鳥取県のみ許可を保有。

※13号産業廃棄物については福岡県、熊本県、山口県のみ許可を保有。そのうち、熊本県においては水銀もしくはその化合物、カドミウムもしくはその化合物、鉛もしくはその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素もしくはその化合物、シアン化合物のみ許可を保有。

【産業廃棄物 中間処理施設の一覧】

施設名	設置場所	許可年月日 許可番号	処理能力
脱水施設	福岡県久留米市梅満町字篠町1632番1		8.6m ³ /日(8時間)
	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		9.7m ³ /日(8時間)
中和施設	福岡県久留米市梅満町字篠町1632番1		6.0m ³ /日(8時間)
	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		45.7m ³ /日(24時間)
油水分離施設	福岡県久留米市梅満町字高海1645番10	S61.10.15(届出) 第234号	72.0m ³ /日(8時間)
	福岡県久留米市梅満町字篠町1632番1		9.6m ³ /日(8時間)
圧縮施設	福岡県久留米市津福本町字重ノ江2280番1		廃プラスチック類 3.6t/日(8時間) 紙くず 4.4t/日(8時間)
	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		廃プラスチック類 3.0t/日(8時間) 紙くず 1.8t/日(8時間) 繊維くず 5.0t/日(8時間) 金属くず 1.5t/日(8時間)
破碎施設	福岡県久留米市津福本町字重ノ江2280番1		廃プラスチック類 2.4t/日(8時間)
	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		廃プラスチック類 2.2t/日(8時間) 紙くず 3.4t/日(8時間) 木くず 2.8t/日(8時間) 繊維くず 3.0t/日(8時間) ゴムくず 2.8t/日(8時間) 金属くず 2.5t/日(8時間) ガラスくず等 3.0t/日(8時間) がれき類 2.9t/日(8時間)
	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		ガラスくず等 1.8t/日(8時間)
造粒固化施設	福岡県久留米市梅満町字高海1645番10		53.2m ³ /日(8時間)
切断施設	福岡県久留米市津福本町字重ノ江2280番1		6.0t/日(8時間)
調質施設	福岡県久留米市梅満町字篠町1632番1		36.0t/日(9時間)
混練施設	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		150m ³ /日(9時間)
切断分離施設	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		2.3t/日(8時間)
個液分離施設	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		7.2m ³ /日(8時間)
	福岡県久留米市梅満町字高海1645番7		23.1m ³ /日(24時間)
焼却・熱処理施設	福岡県久留米市梅満町字高海1645番10外1筆	H26.07.01 第112013号	6.3t/日(14時間)
ろ過施設	福岡県久留米市梅満町字高海1645番8		72.0t/日(24時間)

【産業廃棄物 中間処理施設の一覧】



【産業廃棄物処理業実績】

	産業廃棄物	特別管理 産業廃棄物
収集運搬量	36,262.63 t	1,323.40 t
受入・処分量	19,842.90 t	583.40 t

【運搬施設及び作業車両の種類、数量、低公害車の導入状況】

運搬施設及び作業車両の種類、最大積載量（保有台数計 59台）



タンク車:10台



清掃車
(強力吸引作業車) :15台



脱着装置付
コンテナ専用車 :9台



ダンプ車:1台



キャブオーバ
(平ボディ車) :9台



バン
(ウイング車) 7台



塵芥車
(パッカー車) :2台



冷凍冷蔵車:1台



高圧洗浄車:3台

低公害車の導入状況

低排出ガス基準	台数	割合
平成17年基準適合/PM10%低減重量車☆	2台	3.6%
平成17年基準適合/Nox・PM10%低減重量車★	3台	5.5%
平成17年規制適合車	5台	9.1%
平成17年基準適合/排出ガス75%低減車☆☆☆☆	1台	1.8%
平成21年規制適合車(PHP車を除く)	3台	5.5%
平成21年基準適合/排出ガス10%低減車☆	8台	14.5%
平成22年規制適合車	1台	1.8%
平成22年規制適合/排出ガス10%低減車☆	2台	3.6%
平成28年規制適合車	16台	29.1%
平成30年規制適合車	1台	1.8%
低燃費基準	台数	割合
平成27年度燃費基準達成車	16台	29.1%
平成27年度燃費基準5%向上達成車	8台	14.5%
平成27年度燃費基準10%向上達成車	2台	3.6%
平成27年度燃費基準15%向上達成車	1台	1.8%